

| | | | | | | |
|-------------------|---|------------|--------------------|------------|------------|------------|
| 施設名称 | 〔8〕 東京都台東区立書道博物館 | | | | | |
| 指定管理者の名称 | 公益財団法人台東区芸術文化財団 | 指定期間 | H22.4.1 ~ H27.3.31 | | | |
| 1. 指定管理者の概要 | | | | | | |
| (1)業務内容 | 芸術文化、区民文化、スポーツ文化に関する事業の実施 芸術・文化・スポーツ施設の管理運営 | | | | | |
| (2)類似施設の管理実績 | 文化施設5箇所 | | | | | |
| (3)経営状況 | 25年度決算 歳入 594,805,759円 歳出 542,927,644円 収支差額 51,878,115円 (区返納金31,878,115円次期繰越金 20,000,000円) 監査の結果、事業報告書、決算報告書、決算付属明細書並びに財産目録は適正であった。(内部監査報告書より) | | | | | |
| 2. 施設の概要 | | | | | | |
| (1)所在地 | 台東区根岸2-10-4 | | | | | |
| (2)設置目的 | 洋画家でもあり書家でもあった中村不折が開設した書道博物館は、開館以来60年にわたり中村家が運営してきたが、平成7年に区が寄贈を受けた。不折の作品及び書道に関する収集品を広く一般に展示公開し、区民文化の振興を図る。 | | | | | |
| (3)利用者 | 区民ほか | | | | | |
| (4)開館日・時間 | 開館日：休館日(月曜日/12月29日~1月3日/特別整理期間等)を除く 開館時間：午前9時30分~午後4時30分(入館は午後4時まで) | | | | | |
| (5)規模 | 延べ床面積 1,032.38㎡(蔵)16.52㎡ R C造 平屋建(本館)247.93㎡ R C造 2階建て 第1~5展示室(中村不折記念館)764.83㎡ R C造 3階建て エントランスルーム、展示フロアー、特別展示室、中村不折記念館、会議室、事務室など | | | | | |
| (6)人員体制 | 8名 常勤固有職員(1)派遣職員(1)再雇用(1)財団嘱託員(1) 研究員(2)専門員(2) | | | | | |
| 3. 事業(サービス提供)の概要 | | | | | | |
| (1)委託事業 | 博物館資料の保管及び展示、博物館資料に関する調査及び研究などの事業 施設・付帯設備及び物品の保全・調整、施設内の清潔整頓、その他環境整備等の事業。 施設使用料徴収などの事業。 | | | | | |
| (2)自主事業 | 特別展「清時代の書-碑学派-」、企画展 中村不折コレクション「唐時代の書、徹底解剖!!!」「江戸ワールド」、みんなが見たい優品展「没後70年中村不折のすべて-書道博物館収蔵品のなかから-」 | | | | | |
| 4. 予算決算の推移 | | | | | | |
| | | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 |
| 予算 | 委託料 | 44,484,000 | 42,285,000 | 32,906,000 | 30,152,000 | 22,651,000 |
| | 利用料金収入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他収入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 管理経費 | 44,484,000 | 42,285,000 | 32,906,000 | 30,152,000 | 22,651,000 |
| 決算 | 委託料 | 41,288,359 | 41,048,569 | 32,335,170 | 28,325,400 | 21,873,371 |
| | 利用料金収入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他収入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 管理経費 | 41,288,359 | 41,048,569 | 32,335,170 | 28,325,400 | 21,873,371 |
| | 収支 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 5. 施設の稼働状況等(活動指標) | | | | | | |
| 指標名称 | | 単位 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 |
| 開館日数 | | 日 | 282 | 281 | 274 | 266 |
| 6. 成果指標 | | | | | | |
| 指標名称 | | 単位 | 目標値 (27年度) | 23年度 | 24年度 | 25年度 |
| 入館者数 | | 人 | 14,000 | 14,695 | 14,955 | 12,525 |

7. 平成25年度評価結果に対する現在までの取組み

貴重な資料である軸類等の修復を計画的に進めている。また、東京国立博物館及び朝倉彫塑館との3館連携の特別展など、魅力ある企画展示を行った。

8. 評価項目
 3: 協定等の水準を上回っている。
 2: 協定等の水準どおりである。
 1: おおむね協定等の水準だが課題がある。
 0: 協定等の水準を下回っている。
 -: 評価対象外項目。

| 評価の観点 | 評価項目 | | | |
|------------------------|-----------------|-----|-----------------|-----|
| (1)事業の運営 平均 [2.0] | (a)施設の目的達成 | [2] | (f)開館時間等の遵守 | [2] |
| | (b)サービス水準 | [2] | (g)自主事業の成果 | [2] |
| | (c)職員配置 | [2] | (h)個人情報保護 | [2] |
| | (d)職員研修 | [2] | (i)緊急時対応 | [2] |
| | (e)案内・接遇 | [2] | (j)警備・防犯体制 | [2] |
| (2)施設の維持管理 平均 [2.0] | (a)建物保守・設備機器点検 | [2] | (e)危険箇所等の確認 | [2] |
| | (b)備品の管理 | [2] | (f)管理記録の作成・保存 | [2] |
| | (c)清掃・衛生管理 | [2] | (g)業務委託の事前承認 | [2] |
| | (d)施設の修繕 | [2] | (h)省エネ・省資源・環境配慮 | [2] |
| (3)利用者の満足度 平均 [2.2] | (a)利用者・第三者機関の評価 | [2] | (d)利用しやすい環境整備 | [2] |
| | (b)苦情・要望への対応と報告 | [2] | (e)関係団体・地域との関わり | [3] |
| | (c)利用者数の目標達成 | [2] | | |
| (4)収入支出 平均 [2.0] | (a)適正な予算執行 | [2] | (c)収支計画の達成 | [2] |
| | (b)管理経費の効率化 | [2] | (d)利用料等の徴収・管理 | [2] |

9. 評価
 S (水準以上) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A (適正) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D (水準未滿) : 協定等の水準を満たしていない。

| 評価の観点 | 評価 | 説明 |
|------------|----|--|
| (1)事業の運営 | A | 今年度も東京国立博物館と同一テーマで特別展を開催するとともに、リニューアルオープンした朝倉彫塑館とも連携することで、更なる事業の充実を図った。 |
| (2)施設の維持管理 | A | 経費を最小限に抑えながら、貴重な資料の保存・保護のために区と連絡をとりつつ、環境保全や計画的な修理を進めている。また、台風後の被害状況等を小まめに報告するなど適切な管理運営が行われている。 |
| (3)利用者の満足度 | S | 工事による臨時休館等の影響もあり入館者数は減となったが、関係団体と連携事業を行うなど貴重な資料を多数保有する利点を活かした事業を展開している。また、教育委員会と連携した学びのキャンパスプランニング事業や出前講座は大変好評を得ている。 |
| (4)収入支出 | A | 経費削減に努めながら、計画的に作品等の修復を進めており、適正に予算の執行がなされている。 |

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

| | |
|-----------|---|
| 妥当 | 工事による臨時休館等の影響もあり入館者数は減となったが、来館者の満足度も高く、固定ファンも多い施設である。また、出前講座や教育委員会と連携した学びのキャンパスプランニング事業など、関係団体や地域と連携した文化教育事業は大変好評である。 |
|-----------|---|

11. 平成26年度評価結果に対する今後の対応

入館者数の回復に向け、今年度よりメールマガジンの配信や雨の日の来館者及びギャラリートーク参加者に絵葉書のプレゼントを行うなどのさらなる来館者サービスを行っており、今後も来館者サービスの向上、重要文化財等の貴重な資料を多数保有する施設の利点を活かした事業に取り組んでいく。